



《発行所》

青山同窓会

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町2-635
新潟県立新潟高等学校内
TEL 025-266-5268
FAX 025-266-5268

《編集・発行人》

敦井 榮一

《印刷所》

株式会社第一印刷所
〒950-8724 新潟市中央区和合町24-18
TEL 025-285-7161
FAX 025-282-1776

ご挨拶

青山同窓会会長

敦井 榮一 (69回) 61卒



昨年、青山同窓会總會のご案内と会費納入の依頼状を約4,700名の方に差し上げ、減少傾向ながらも約400名の参加と約3,000名余の方々から会費をご納入頂いており、紙面を借りて御礼申し上げます。青山同窓生は多士済々で、新潟を離れ、様々な道を極めた方々がいらつしやる一方で、地元新潟に残り、あるいは戻って事業を継承して、事業を大きく伸ばしている方々も大勢いらつしやいます。地方の時代と叫ば

れて久しく、近年では地方創生の旗の下、多くの同窓生が地域の中小企業の経営を通じて、地域の雇用を確保し、経済を支えて、ふるさとのために頑張っています。先日、同窓生が経営している古町の老舗眼鏡店の活躍を紹介する新聞記事を拝見して心強く思いました。激動の社会を生き抜く中で、高校の在学中に培った同期の輪、そして同じ学び舎を巣立ったことの親近感や信頼感と言葉では言い表せない心のつながりとなり、人と人とを繋ぎ、親交を温めることが大変に重要なことであると強く感じています。

経歴などを披露する場合、最終学歴として出身大学を記載することが一般的で、まさか名刺や軒先に新潟高校卒業と表記することもありませんので、どの会社の経営者や役員が青山同窓生なのかは、会話を通じて知り合うことが多いと思います。同窓会総会や新年会にご出席いただける、よく知る会社やお店の経営者が青山同窓生だと気づくことができると思いますので、新潟へ戻られた方におかれましては同窓会総会に積極的にご出席いただきたいと思います。

昨年、監事を務めていただいております江口良助氏のご逝去されました。後任には若槻良宏さん(100回 新潟青山法律事務所)をお願いしました。いよいよ卒業回数が3桁の役員が登場しました。同窓会は交流を深めることが第一と考え、若槻さんの所属先を記載しました。肩書を嫌う方もいらつしやるかもしれませんが、先輩と後輩とが世代を超えて、ネットワークを拡げていけるよう、今後も紙面を通じて連携の場を提供していきます。同窓会となるよう役員の方々と力を合わせて活動を

展開してまいる所存であり、ただきますようお願いいたします。同窓生各位のご理解をいただきます。

平成29年 青山同窓会新年会報告

渡邊 二三枝 (92回) 84卒

平成29年青山同窓会新年会が2月17日(金)、ホテルイタリア軒で開催され、約1100人の同窓生が集いました。

品田泰さん(101回)の司会により開会し、敦井榮一会長(69回)を最初に、石井充学校長、篠田昭新潟市長(75回)、佐藤信秋東京青山同窓会会長・参議院議員(74回)よりご挨拶を頂きました。



恒例の「丈夫」斉唱は、司会の品田泰さんリードで、100回以降の若手同窓生が登壇し、新年にふさわしく声高らかに歌い、最後は副会長の砂田徹也さん(81回)より中締めのご挨拶をいただき、楽しい会の幕を閉じました。

青山同窓会 平成30年新年会のお知らせ

来年の新年会は平成30年2月16日(金)を予定しております。詳細は次号会報に掲載いたします。



東京青山同窓会開催

工藤 義夫 (74 回) 66 卒

平成 29 年 6 月 16 日 (金)、東京青山同窓会新人歓迎会・総会に 130 余名。既に半世紀を超え伝統は脈々と続く。

佐藤東京青山同窓会長挨拶「ようこそ 125 回生！より多くの同窓生の参加を得て世代を超えた交流の場に。渡邊青山同窓会副会長ご挨拶「祝盛会！飯田校長から母校音信「先週の青陵祭は雨予報も覆し熱気に包まれた」在校生は女性 51%、進学・スポーツ実績、企業研修では東京会にご支援頂く。

次いで、新人歓迎会は今回の目玉、冒頭講演に DENA 創業者の南場智子氏 (85 回) が本会初登場。「次代を担う人材へのメッセージ」と題し、グローバル化等で社会・仕事・働き方が確実に変わる中、どう生きるべきか自分を生かせるか、将来像を熱く語る。近く今の仕事の半分がなくなる時代に向け、コンピュータに指示し AI や Big data 等を駆使し、異質な人とプロジェクト単位で仕事ができるようにと。



たがえしの交流会、新人 18 人と校歌・応援歌斉唱。時間もやや延び飲料費も超過？いつもより

関西青山同窓会開催

島田 茂 (83 回) 75 卒

平成 29 年 2 月 18 日 (土) 16 回目となる関西青山同窓会が、ウエスティンホテル大阪で開催されました。

新潟から敦井榮一会長 (69 回) 及び渡邊毅副会長 (85 回) を迎え、29 名が出席しました。伊藤洋介さん (83 回) の司会で、関西青山同窓会会長の渡辺操さん (66 回) より開催の御挨拶を頂きました。

若手中間世代が多いのは南場校歌・応援歌斉唱。時間もやや延び飲料費も超過？いつもよりきや！いざ前へ。

引き続き敦井会長からご挨拶を頂き、同窓会新年会が盛況の様子を紹介頂き、多種多彩な活躍をする方々を同窓会報の同窓生訪問で積極的に紹介していきたいとお話でした。

その後、渡邊副会長から母校の近況報告をして頂きました。部活では陸上部、女子円盤投げではインターハイ出場の活躍があり、また囲碁部、放送部等でも全国レベルの実績を得て、母校のスローガンである文武両道を実践しているとの嬉しい報告でした。

新潟高校に着任して

校長 飯田 昭男



このたび、県の教育次長として転出された石井充校長の後任として、県教育庁高等学校教育課長から、平成 29 年 4 月 1 日付で着任いたしました。

飛び入りスピーチでは、阿部治男さんと阿部正明さん (2 両名とも 69 回) から懐かしい高校生活の思い出を語って頂きました。お 2 人から「何事もあきらめるな、ダメだと思ったその先に道が開ける。」と重みのある言葉で、われら後輩も襟を正した次第です。

さらに神戸市の須磨水族館研究職の松澤さん (95 回) にスピーチして頂きました。彼は日本ウミガメ協議会の会長も兼務され、ウミガメの生態の一端を紹介してもらいました。実は新潟市内にもウミガメの産卵場所があるそうです。

最後は全員で旧校歌、さらに「丈夫」を合唱しました。お開きは近藤宏一さん (66 回) からご挨拶を頂き、64 回から 123 回まで幅広く集う関西青山同窓会の発展を願って頂きました。

実した3年間を過ごしてほしい。高校生活では、多くの失敗をすることもあるが、失敗を恐れず、様々なことにチャレンジしてほしい。」と新入生に伝えました。

社会構造が大きく変化した現在、技術発展のスピードもめざましいものがあります。さらにはグローバル化により、様々な人々と協力し合う必要があり、「確かな学力」とともに「思考力・

退任の御挨拶

前校長 石井 充



2年前、草間校長の後を引き継ぎ、輝かしい歴史と伝統ある新潟高校の校長を務める幸運に恵まれました。この間、青山同窓会の皆様方の御支援と御助言をいただき、教職員とともに千人を超える優秀な生徒の教育に関われたことはたいへん光栄なことでした。

教育に対しては、いつの時代も大きな期待が寄せられ、教職

判断力・表現力」を身につけさせるために、本校の教職員は日々、努力を重ねているところです。青山同窓会の皆様には、これまで同様、引き続き、本校へのご指導、ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。最後にになりますが、青山同窓会の今後ますますのご発展と会員の皆様方のご健勝を祈念し、着任の挨拶といたします。

した。

ヨーロッパのオーケストラと指揮者の関係を、公園とその中を散歩する人にたとえた話をどこかで聞いたことがあります。ペームやカラヤンという大指揮者でさえ、ただ通り過ぎるだけの人だということですから、伝統あるオーケストラの存在感は大きいものです。その「例え」を借りれば、新潟高校という公園を散歩したり、通り過ぎていくのが生徒や教職員ということになると思います。校門を入っ

監事就任のご挨拶

若槻 良宏 (100回) 92卒



このたび、監事を仰せつかりました100回(平成4年卒業)の若槻良宏でございます。現在は、弁護士法人新潟青山(新潟青山法律事務所)の代表を務めているほか、新潟大学法学部の准教授を務めております。

監事就任にあたり一言、自己

て左手には、遠く海の彼方を見つめる青陵健児の像が立ち、これまで、そしてこれからも長く、青山の地で学ぶ高校生の夢を静かに応援してくれることでしょう。新潟高校に今後も前途有為な若者が集い、この青山の地から、日本をそして世界をリードする人材が育っていくことを、さらには青山同窓会の今後益々の御発展と皆様方の御健勝を祈念し、最後の御挨拶とさせていただきます。たいへんありがとうございました。

広報委員長(会報編集委員長) 就任挨拶

金井 利郎 (92回) 84卒



今年度より青山同窓会広報委員長(会報編集委員長)を拝命いたしました92回卒の金井利郎と申します。石井智裕前編集長をはじめ会報編集委員の皆様から数年に渡りご指導をいただいていた中、このような大役を仰せつかったことに緊張と責任を感じますが精一杯努めたいと

ました。その後、これも縁あつて、平成15年に、同級生の小田将之君(100回、柔道部)とともに、「新潟青山法律事務所」を開設し、現在に至っております。同じ学び舎で楽しく過ごした青春時代を原点に、大変恐縮ではございますが、「青山」という名称を使用させていただいた次第です。

敦井榮一会長から監事就任のお話をいただいたのも、何かの

思っております。さて、青山同窓会会報が創刊されたのは昭和40年7月1日であり、何と私も同じ年の生まれなのです。青山同窓会のホームページ(<https://www.aoyama-dosokai.com/>)には第1号から現在までの会報バックナンバーがすべてダウンロードできます。第1号には鍵富清一郎会長のあいさつや「青陵問題のあゆみ」などが掲載されていきました。詳しくはホームページよりご覧ください。私もこの機会に幾つかの会報に目を通して見ましたが、生まれた頃から高校時代、そして社会人になつてから近年までの新潟の歴

史が青山同窓生の視点で綴られており大変感銘を受けました。毎年2回、着実に会報を発行し続けてくれた先輩諸兄に感謝するとともに、これからの歴史を綴るお手伝いができることに喜

広報委員会

委員長(兼任会報編集長)

金井 利郎 (92)

会報編集部会

委員 池主 憲夫 (68)

中野 久 (71)

石井 智裕 (79)

小山 佳子 (88)

大野 潮子 (92)

渡邊 三枝 (92)

加賀 稔理 (95)

坂井 奈津子 (96)

高橋 彩子 (104)

樋口 真佑子 (113)

笹川 薫 (通 37)

ホームページ部会

委員 小松原雅之 (85)

PTA会長あいさつ

大越 章吾 (85回)

77卒



経って、校舎が新しくなり、生徒数も少なくなり、理数科がきたり、女子の方が多くなったりとか、随分と高校の実情は変わったが、不思議なもので母校は母校、校内に立てば違和感なく変わらぬ雰囲気になることができる。

子供に恵まれるのが遅かったためか、卒業40年が経過した今年PTA会長を仰せつかった。長男は今年卒業し、2年生の次男の親としてである。40年も

部に所属し、勉強する時間もなくクラブ活動に没頭している。自分も週末は練習試合の観戦で母校のグラウンドを訪れる。子供たちが野球をしてくれたおかげで、楽しい時間を過ごすことができるといわれた。2年前の夏、野球部はしばらく振りの快進撃で、準決勝の日本文理戦ではエコスタが「ますらお」の合唱で大いに盛り上がった。応援団の人数ははるかに相手を上回り、本校の伝統を実感するに

十分であった。自分の心に久しく忘れていた母校愛が踊った瞬間であった。

少子化による若者の負担増大、環境問題、緊迫する国際情勢など、息子たちが生きていく時代は、安閑として生きてきた我々の時代よりもはるか困難なものになることは間違いない。その時代を生き抜いていく力を、新潟高校での青春時代が与えてくれることを願うばかりである。

新潟県立新潟高等学校創立百二十周年記念事業収支報告

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位:円)

収入の部	平成 28 年度発生額	平成 28 年度発生額の主な内訳
雑収入	64	預金利息
収入総額	64	

支出の部	平成 28 年度発生額	平成 28 年度発生額の主な内訳
備品費	798,120	内田洋行 eB-S プロジェクターペン 2本 25,920 天吊マグネットスクリーン修理 (11本) 772,200
支出総額	798,120	

収支差額	△ 798,056
------	-----------

H27年度までの累計額 - H28年度発生額 = H28年度末までの累計額
4,951,166 - 798,056 = 4,153,110

東北青山同窓会 第7回総会

日時 平成 29 年 9 月 30 日 (土) 16 時 ~

会場 仙台市 江陽グランドホテル

詳細は、決まりましたらフェイスブックグループページ、ダイレクトメール等でお知らせする予定としております。

お問い合わせはこちらまで、メールにてお願いします。
tohokuaoyama@gmail.com

★青山同窓会の書籍等のご案内★

創立百二十周年記念事業の一環として作成しました書籍等を、ご希望の同窓の皆様にお分けいたしております。また、校歌・応援歌を収めた CD もございます。

ご希望の方は同窓会事務局までご連絡ください。

- 『青山百二十年史』書籍 (CD-ROM 付き) 10,000 円 (送料・振込手数料別途)
- 創立百二十周年記念式典 DVD 2,500 円 (送料・振込手数料別途)
- 『青山同窓会 百二十周年名簿』 5,000 円 (送料・振込手数料込み)
- 校歌・応援歌 CD 1,000 円 (送料・振込手数料別途)

「つわものぞも」(凱旋歌)について

幹事長 吉田 徳治 (83回)

75卒

「大正後期頃から生徒の間で盛んに歌われた応援歌が「つわもの」だった。「つわもの」は卒業生の伴純(21回)が東京帝大在学中の大正9年に作詞したものである。それを当時流行していた歌曲「カルメン」の中の「トレヤドル」に基づいて、歌いやすいハ調に編曲し、中学在学中の弟に手渡したものだといふ。(『青山百二十年史』より)

「つわもの」は現在「凱旋歌」というタイトルになっている応援歌で、歌詞は1番のみが伝わっていました。昨年、伴氏のご遺族より、この歌には2番がありますと資料を頂戴しました。折角、判明した歌詞であるので、皆様にご披露することにいたしました。総会会場にてお配りする歌詞カードにも掲載しています。ご記憶にある方はぜひ歌ってください。



高橋建設さんは平成29年4月より新潟市副市長に就任されました。直近の役職を拝見するだけでも、サミット推進課長、市美術館長、中央区長、地域魅力創造部長など多岐にわたる分野で指導力を発揮されています。訪れた場所が副市長室でかなり緊張しましたが、高橋さんの気さくな雰囲気と、以前に青山同窓会報編集委員をされていたと

いう事で自分の中に仲間意識が勝手に芽生え、楽しく話を伺うことが出来ました。84回生は「バンカラであるけど人には迷惑をかけない、青山的な大らかな所が残っているぎりぎりの学年だったのでないか。」とおっしゃいます。高橋さんご自身の高校生活は趣味も多く、とりわけ音楽に夢中で校内外の友人達と曲作りや演奏に日々を費やしていました。文系から理系へと途中転向したので、クラスをまたいでの友人も多く、卒業アルバムには(学校も大らかな時代だったのでしょう)3クラスの写真に写っているとか・?いい意味でよく遊

び、今でも戻りたいと思えるほど楽しかったと振り返っておられました。そして中央大学理工学部に進学、専攻は管理工学科(現・経営システム工学科)です。当時は全国でも数少ない分野で、今でこそ当たり前に行われている列車の遅れをコントロールし、総待ち時間を減らす研究を卒論テーマとして既に取り組んでいました。3年進級時にこのままの学生生活に疑問を感じ1年間休学、音楽演奏やミュージカルの作曲のかたわら日本全国をオートバイで旅しました。未来につながる人間関係や経験が出来た有意義な1年間になったそうです。

卒業後は新潟市役所に就職、若い時期の経験が今に生きているとおっしゃられます。旧ソ連時代のウラジオストクへ日本語教師として赴任、また国際会議の誘致活動はサミットやAPECの大臣会合開催につながりました。新潟市民芸術文化会館「りゅーとびあ」のオーブンに際しては、音楽・演劇の知識を活かして、運用面のルール作りで中心的な役割を果たされました。

「全ての仕事に思い入れはありますが、一貫しているのは、市民から預かっているお金で仕事をしていることを忘れず、理由をきちんと納得できるように説明すること、これが大切ですよ。」今後は、「新潟市に住み続けたい、住んでみたいと、もっともっと思ってもらえる街になるよう、市民と共に盛り上げて行きたい」と語られました。

最後に在校生へのメッセージを頂きました。「借り物ではない、自分の頭で判断して前に進んで行ってもらいたい。県外・県内にこだわることなくかけがえない経験をすることが大切です。そして、成長した時の物差しで自分の住みたい場所を考えた時に新潟市を選んでくれる事を待っているし、我々も伝える努力をします。」

年度初の多忙な時期に訪問を受けて下さった事に感謝すると共に、今後のご活躍をご祈念いたします。

新校舎再建計画は関係者の大変な尽力により昭和30年から徐々に始まり35年に完成したとのことである。私達も幸い途中から鉄筋コンクリートの新校舎

新潟市副市長
高橋 建設さん(84回) **76卒を訪ねて**
会報編集委員 中野 久(71回) **63卒**
記事 坂井奈津子(96回) **88卒**

同窓生訪問

凱旋歌
強者等 つわもの等 強者
つわもの
君が勲は その胸に 輝や
り
今ぞ 今ぞ 君勝ち 我等が 勝てり
(二唱)

強者等 つわもの等 強者
つわもの
天地の花みな 君が上に 降り
今ぞ 今ぞ 君勝ち 我等が 勝てり
(二唱)

同期会報告

青山67回・喜寿を祝う会の開催報告
菅沼 重登(67回) **59卒**

伝説ある母校は昭和29年4月原因不明の火災により、その4分の3を焼失した。私達が入学したのは昭和31年4月であった。2部授業は廃止になってしたが、焼け残った校舎とバラックで学校生活をした忘れ難い思い出がある。私は部活に柔道部を選んだ。もちろん専用の道場など望むべくもなかった。我々1年生は教室の机を片付け、畳置場から1枚1枚畳を腰に乗せて運び、床に敷き詰め道場を作りあげるといふ仕事を命令された。終わるとやお上級生が現れ部活がはじまるのだが、疲れ切った1年生の次の役割はただただ投げ飛ばされることであつた。私は疲れていなければと何度思ったことか。同期の丸山富雄君とはこの部活が縁で親しくなり、同じ大学に進んで青春時代の親友となった。

新校舎再建計画は関係者の大変な尽力により昭和30年から徐々に始まり35年に完成したとのことである。私達も幸い途中から鉄筋コンクリートの新校舎

で勉強することはできたが、最終工期の完成を見ることなく卒業して行つた。この時代に最新であつた校舎がまた目を奪うばかりに立派な現在の校舎に生まれ変わっている。

私達も卒業して58年が過ぎた。鉄筋コンクリートといえども50年もたつと更新の時期が来る。もはや喜寿に達した私達にも避けようのない人生の節目が訪れている。



中野幹事以下 10 名が集まり、人生にひと区切りをつけ喜寿の美学を貫き通す最後の会をやる と決めた。1 年前に準備開始、開催予告を出して名簿を固め 1 月に案内状を発送した。

平成 29 年 4 月 16 日新潟の老舗料亭「鍋茶屋」に喜寿を迎えた懐かしい面々が全国から集まった。不思議なことに出席者が 77 名 (女性 13 名) とゴロ合わせもピッタリだった。私達は思い出や近会に寄付することにした。

同期の卒業生は 348 名 (女性 41 名、欠席 182 名、逝去 52 名、不明 37 名、担任教師はすべて逝去された。今回が最後の同期会になることを申し合わせ、会の残金 10 万円は青山同窓会に寄付することにした。

67 同期会の皆様へ(お礼)

この度、67 同期会の皆様より 10 万円のご寄付をいただきました。

喜寿の会同期会を最後とし、「以後同期会としての開催はしない。」との決議をもって、会の残金を青山同窓会に寄付して下さったものです。同窓会会計に繰り入れ大切に使用させていただきます。

大変ありがとうございました。

14 回を迎える青山 68 会展

池主 憲夫 (68 回)

60 卒

68 回生の作品展を今年 11 月に開催いたします。

名実ともに後期高齢者 (75 歳以上) 集団となった 68 回生が生み出す作品が、円熟味を増すのか、やや老いの衰えを見せるのか、厳しくかつ温かい目で高覧頂ければ幸いです。

日時 平成 29 年 11 月 8 日 (水) 12 時 ~ 16 時

9 日 (木) ・ 10 日 (金) ・ 11 日 (土) 10 時 ~ 17 時

12 日 (日) 10 時 ~ 16 時

会場 新潟市美術館

旧 3 年 1 組同級会兼忘年会

渡辺 毅之 (72 回)

64 卒

私が幹事を務める「72 回生・旧 3 年 1 組」同級会が、昨年暮の 12 月 27 日、後輩・田中健一君 (105 回) がオーナーの居酒屋チェーンの新潟駅前「越後まる松」で開催されました。

水雨が吹き荒れる中、10 名の同級生が参集。鳥インフルエンザ騒動で、対策に追われる養鶏業者の渡辺玄弘君が、体調崩して、夕刻にキャンセル通知。元県庁職員唯一の女性、山本さん (旧姓大上さん) を交えて、和やかなの内に開宴!

大学卒業後、40 数年続いている、忘年会を兼ねた同級会。青山の各同級会でも、これだけ続いている同級会はないのでは。この年になると、ま

79 回卒四六会ゴルフコンペ戦記「ゴルフの落とし穴」

廣嶋 顯 (79 回)

71 卒

去る 4 月 15 日、新津 CC は小雨ながら八分咲きソメイヨシノの健気な姿と充分満開なキャディさん達の笑顔の迎えが 1 日のスタートでした。春と秋 15 年以上続いているこの会は夜の表彰式が必ず多くなるくらいに同期の大切な恒例となっています。

今回幸運に恵まれ、優勝を戴いた私ですが、最近ゴルフの奥深さらしきを少し感じるようになってきました。

練習をして、少しばかりのコツを掴んだ気になり、開眼という言葉を口にする間もなくスランプに落ち込んでしまう。スランプもトラップも、私は大嫌いです。そしてその落とし穴の入口は至る所にあつて、その多さに呆れるばかりなのです。

ゴルフの調子が良いと思った瞬間が落とし穴の入口だなんて、まるで人生みたい。泥沼の中を歩き回り出口を捜すが容易に見つからない。落とし穴はあれ程あつたのに何故帰るための入口は少ないのだろう。入口と出口の数は同数ではないのかしら? 不思議だ……。表彰式の熱焔を干しながら、そんな事を

この四六会は数少ないエントランス。この入口を潜れば、昔の元気だったころの青陵健児の自分に戻れる。何と有難い事か! 優勝スピーチはヤジでかき消されはしましたが、皆の笑顔と賞品の越後姫の豪華詰合せに感謝の 1 日でした。

この秋はハンデ青天井のペリア戦で初心者優勝のチャンスです。近くの同期に自分から声を掛けてください。同期の参加を期待しています。



フェンシング部同期会(83回)を開催

阿部 和弥 (83回) **75卒**



還暦の節目を迎えた83回のフェンシング部員5人が4月21日夕刻、なんやかんやで新潟駅南口に集まることになった。これまで83回の学年全体の同期会の折りや、部員個別の交流はその都度あったらしいものの、こうして5人のメンバーが一堂に会するのは思うに卒業してからは初めての事。5つの惑星の軌道が一直線上に並んだかのような偶然と再会への思いが重なり、実に40余年ぶりの快挙が実現した。

当夜は地元2人が県外からの3人を迎える形で宴が始まり、今から考えるとほんの一瞬の輝きだったクラブ活動にいそしんだ若き日々の思い出話を花を咲かせ、地酒を飲み比べ、いつしか時がたつのも忘れて盛り上がった次第。あだ名を付けて呼び捨てていた後輩の「名前」が出てこなかったり、次から次へとまるで昨日のこのようにどうでもよいような熱い、胸に込み上げるような記憶が波状となり甦ってきては笑いこけ、感慨無量な時間が過ぎた。

宴半ばに、阿部がその場に持参したフルーレ競技のフレンチ剣を久々に手にしたメンバーで記念写真。左から小林正夫、阿部和弥、齋藤美奈子、小林聡史、船引一樹の各氏。

今はそれぞれフェンシングとは縁のない生活を送っている還暦の

面々も、こうして在校中のフェンシングの活動を通じて時を隔て、旧交を温めることができたことに卒業生として、この上ない喜びと誇りを感じた一献であった。

フェンシング部OB会とは疎遠になってしまったが、こうした個別の集まりから直接つながりのあった前後の学年とも機会ができて交流を持たせたらと願った。

毎年会おうよ

岡村 清 (通12回) **70卒**

通信制12回卒の集いがようやく実現した。何時かは同期会を開きたいと思いつつ時間が過ぎてしまった。そんな時、今年入って平澤信子さんから突然「同期会を開きたい」と連絡が入った。何人が集めて相談をする事にして、1月21日、6人が小千谷で会いました。「もう何人か亡くなっているし、元気な内にまず1回開こう」と庭山実さんを実行委員長に、4月16日に実行と決定。

急な決定で時間的な余裕が無く、卒業して長い間経った事も有って住所の確認がままならず、宛名不全で10通ほどが届きませんでした。それでも60名か

つつ再会を約束し、店を変えて万代口へとさまよった若き日の西洋剣兇児の5人であった。

追伸
現役の高校生は土日も真面目に練習しています。インターハイにも出ています。ぜひOBは年代に関わらず練習場に顔出しお願いします。予約不要。差し入れ大歓迎。

返信の中にはまだ現役で頑張っている方、ボランテアに励んでいる方、趣味を楽しんでいる方、また親や配偶者の介護で苦勞されている方等様々でした。

他の会と重なっている方や仕事の都合等で出席出来ない方も有りましたが、19名の出席で恩師は高木睦弘先生、阿倍誠也先生、小泉正先生が来て預ける事に成りました。

会場は旧浦佐スキー場下の温泉旅館「たもん荘」、田村幸栄と成りました。

「青山ソフトテニスクラブ」して活動しています。毎年8月14日には、多くの人が参加し、現役メンバーとも一緒に、真剣なプレーをします。そして、夜は懇親会で、年齢差

「楽しかったね、また来年も会おうよ」と声上がり、毎年会う事に成ったようです。

2時に始まった会は延々と続き、部屋に移つての2次会も話が弾み「10時を回ったしそろそろ休もうか」の声で終演

泉旅館「たもん荘」、田村幸栄と成りました。朝食の時間もまだ昨日の話が続いていたようです。



OB会報告

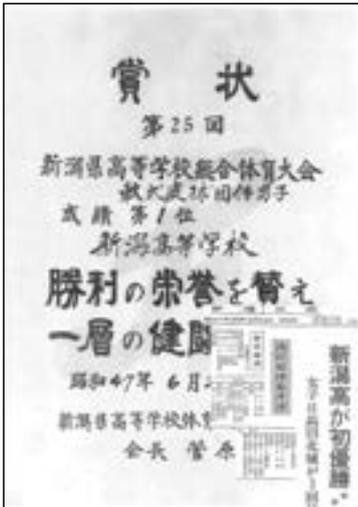
年齢差なんと50歳 高齢者から大学1年生までが集う 青山ソフトテニスクラブOB会

横山 淳 (81回) **73卒**

を感じない交流をします。私も卒業以来数年前までは何回も参加し、炎天下の下で、大汗をかきながら試合を行い、夜は日焼けした体をビールで冷やしてきました。みんな気持ちには非常に若く、楽しくプレーしています。但し、現役時代とは違うことが2点あります。1点は、気持ちと動きが大きく食い違っていること。脳からの指示通りに手足が動いてくれず、ラケットがボールまで届かない。もう1点は、現役時代とは違う自由な動きをしていること。現役時代は怖い先生が見ているので萎縮していたが、今はそれが無い。だから、現役時代よりもうまくなつたように見える。不思議なものです。

私が高校3年生の時、県大会の団体戦で優勝し、インターハイへ出場しました。長い歴史の中で、団体優勝は一回だけです。監督は有名な石崎先生です。地区では強かった我々も、県大会では歯が立たないものと思っていた中で、ただ一人勝ると思っていたのは石崎先生。初戦の奇跡的な大逆転勝利の後は、みんな最高のプレーで他校を寄せ付けず勝ち抜きました。我々の年代は、毎年どこかで集まって酒を酌み交わしますが、今でもこの団結して達成した結果を肴にすることが出来ます。昨年、石崎先生の奥様が、その時の唯一一枚だけの賞状を見つけて、コピーを全員に配ってくれました。さらに、我々が「金メダル」を全員分製作して、配布しました。とても良い記念メダルになりました。

最後に、昨年9月、私の後衛だった澤口昭一氏が亡くなりました。まだ61歳の若すぎる訃報でした。紙上を借りまして、皆さまへご報告し、ご冥福を祈ります。



ボート部OB会

青山艇友会定時総会開催

幹事長 神林 正浩 (89回)

81卒

青山艇友会は平成29年3月11日(土)、新潟市内の柳江苑で定時総会を開催いたしました。同窓会の砂田徹也副会長を来賓にお迎えし、顧問の先生方2名、コーチ1名、県ボート協会事務局1名にOBを加え総勢18名の出席でした。本年は役員改選の年にあたり、渡辺研二会長、富田省一副会長、櫻井優副会長が再任されました。また、平成29年度事業・予算案等を承認し、母校支援としてコーチ支援や全国大会出場支援をおこなうことが確認されました。

懇親会では、かつて白根の大風合戦を見に遠漕した思い出が語られ、途中の狭い橋桁の間を、オールを流しながら勢いよく通り抜けた経験などを確認し合いました。

最後は恒例の「ますらお」と「漕艇部々歌」で締めしてお開きとなりました。

▼出席者18名
 (同窓会副会長) 砂田徹也、(顧問) 加藤朋之、(顧問) 渡辺和彦、(コーチ) 山口健太郎、(県ボート協会 渡邊優子)、(62) 原正雄、(65) 佐藤勝弘、(68) 笠原絃洋、



青山水友会の紹介

幹事長 長谷川 富明 (84回)

76卒

もに現役の競技力向上を支援し、の思い出など現役とOBのコミュニケーションツールとなっております。

▽OB現役懇親会を平成28年7月10日(日)に実施。高校生と一緒に昼飯を食べようという会。OB・顧問・高校生総勢29名。

▽艇友会報第38号を8月25日に発行。顧問の先生からの現役活動報告や新卒OBのボート部

青山水友会は、会報の発行、現役部員の激励会(5月)、水泳部夏期合宿激励バーベキューの実施(8月)などを主な行事として活動をしています。

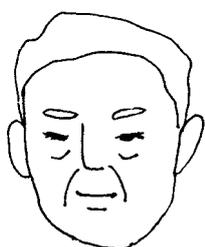
会の活動を長年支えてくださっています(いました)先輩方を似顔絵で紹介いたします。

私が高校生の時から偉大でエツチな先輩でした。大変御世話になりました。ご冥福をお祈りいたします。

高校では水泳、大学ではラグビーをやられたアスリート。新大ラグビー部OB会長としても尽力されています。



61回 故江口良助 副会長



58回 小熊勇司さん



66回 横瀬功さん (先生)

新潟高校で教鞭を取られた時

水友会の活動を写真や動画で記録してもらっています。愛情に満ちたDVDの製作をこれからもお願いいたします。



62回 柘山純副会長

青山水友会の神様仏様です。夏の関川村合宿では大変お世話になっております。



60回 平田大六会長

剣道部OB会

平成28年度の活動報告

青山剣友会 事務局長代表

滝沢 俊一 (104回)

96卒

総会
平成28年8月11日、平成28年度総会が新潟市の白山会館で開催されました。

議題は平成27年度会計報告です。会計係の渡部恵太郎氏(112回)から決算説明があり、当日



84回 長谷川富明幹事長

欠席の会計監査の坂上結希氏(103回)にかわり事務局で監査報告し、承認されました。また、本年度は特別寄付金の協力を頂いたこともあり、繰越金を増加することができました。

その後、加藤公則氏(90回)から「健康診断・人間ドックから知る自分の健康」といったテーマで講演会を実施いただきました。タバコやアルコールが人体に及ぼす影響についてなど、日頃の生活の中で実践できる様々なアドバイスをいただきました。その後の懇親会では、例年以上に幅広い世代間での交流の場となりました。最後に、剣友会応援団長の宗村信明氏(88回)の応援指導で様々な応援歌のご披露と、丈夫の斉唱が行われ、副会長の町田一越氏のごあいさつにより盛会のうちに締めとなりました。また、同日午前中、OB・母校現役剣道部員による合同稽古が新潟高校剣道場で行われ、総勢47名による気合の入った稽古が繰り広げられました。

新年会

平成29年1月2日、平成29年新年会が新潟市のイタリヤ軒にて開催され、33名の会員が集い、和やかに新年をお祝いしました。今回も8月の総会に続き若手会員が多数参加し、賑やかな会となりました。同日午前中に母校新道場で行われた新年初稽古会は、多くの参加をいただき、総勢48名の現役生・OBが寒い中、気合いと熱のこもった稽古が行われました。



母校剣道部とOBの合同稽古会
毎月1回、新潟高校剣道場にて現役生・OBを始め一般の参加で実施しております。

青山墨友会書展 開催報告

伊豆名 皓美 (113回)

05卒

書道部の卒業生及び歴代指導者から成る「青山墨友会」は、

平成29年1月7日～9日、新潟県民会館3階ギャラリーBにて、初めての書展を開催しました。事務局の呼びかけに応じた、県内外の会員有志15名が1人1点ずつ出品しました。本展は、会員がそれぞれの知見で書の本質に向き合って制作に取り組みべく、開催したものです。充実した展示空間を作ることを目指し、3回の作品合評会(内2回は出品者会議を含む)を行い、約1年前から準備を重ねました。また同会期で、同3階向かいのギャラリーAでは、現在の書道部顧問・小川貴史先生の個展「滌齋近墨 小川貴史作品展」も開催されました。先生は「書は造形であり文学である」という思想とその独自の姿勢を書展同時開催という形で、身をもって私たちに示してくださいました。



この度、学び舎の縁による作品群を通して、出品者・鑑賞者・同窓生相互の交流もあり、今後の展開に期待が持てました。芸術としての書表現とは、技術を前提とした主張を要するものです。更に入念な準備を重ね、約5年後には第2回青山墨友会書展を開催したいと考えています。どうか今後ともご高配を賜りたく、お願い申し上げます。最後に、青山墨友会書展の出品者と作品名をご紹介します。

(一部敬称略にて失礼します。)

- 中村有里先生 (95 回) 「雪」
- 小川和恵先生 (101 回) 「情熱の持続」
- 吉田丈夫会長 (112 回) 「臨察襄離都帖」
- 伊豆名皓美 (113 回) 「形象について」
- 波多野彩佳 (114 回) 「妙光」
- 増子健 (115 回) 「臨真昌碩」
- 久須美智子 (116 回) 「かささぎの」

各地で息づく青山の血潮

青山バスケットボールクラブ

和澄 孝男 (83 回) 75 卒



2017年3月、1枚の写真データが添付されたメールが届いた。添付された写真は、当バスケットボールクラブのOBたちが満面の笑顔で写っている集合写真であった。学生時代の面影をわずかに残しながらも、白

- 松本晃大 (117 回) 「臨高野切第一種」
- 本田風 (118 回) 「般若心経」
- 久須美裕子 (119 回) 「臨高野切第一種」
- 上杉憲 (120 回) 「贈李生」
- 板垣汐海 (121 回) 「春夜雨喜」
- 齋藤多佳子 (121 回) 「継ぐ」
- 砂塚真子 (121 回) 「中村汀女の俳句二句」
- 関春菜 (123 回) 「投擲」

いものだけがはつきりと印象づけられた写真である。そこには、「東京青山バスケットボールクラブ新年会を開催」との文書が記されていた。

当OB会は、毎年1月3日、新潟において現役との交流試合などを交えながら新年会を開催している。伝統あるこのOB会は、私が現役であった時代以前から脈々と続いているものである。それを通して先輩たちとのいわば縦のつながりを感じ取り、あわせて自分の存在を確認したものであった。新潟での毎年の新年会の参加者はかつてほどの数に達することはなく、正直言うと少し寂しさを感じていた。しかし、このたびの1通のメールはそれをつかの間であれ払拭させてくれるものであった。青山で学び、いっしょに汗

を流し涙したその血潮は、今なお続く何ものにも代えがたいものであることを教えてくれた。OB会の面々は、全国で又は世界で活躍している。新潟に帰省せずとも、其処かしこで青山のOBとして集う面々がいることは我々の誇りであると胸を熱くさせられた。

青山レスリングOB会22名出席

梅田 正敏 (76 回) 68 卒

定例の3月第1土曜日4日にOB会を開催いたしました。出席者は大幅に増え22名になりました。幹事としては嬉しいかぎりです。会場は新潟駅前の日本海庄屋で開催しました。県外出席者は5名でした。その内なんと佐賀県から1年後輩の吉沢君が出席してくれました。部の活



青山バスケットボールクラブは、後輩たちの部活動に少しでも力になればと、練習会の開催やOB会費からの資金援助などで毎年支援を続けている。これは、先輩OBから受け継いだ長年の伝統であり、我々の誇りである。今後も、後輩たちに継承していきたいものである。

動には、苦勞をかけ協力してもらった1人です。何十年ぶりの再会に感激でした。又県内の新たな出席者を加え盛況でした。地道な活動により、少しは周知されてきたのかなと思いましたが。

議題としては、長年にわたりレスリングの発展に貢献された加藤美明OB62回に副会長に就任していただき、会の更なる安定、継続をはからせていただきました。又、唯一のOG会員にも出席いただき会を盛り上げてもらいました。その後は、會員の近況や思い思いのお話を順次していただきました。残念な事は40代の出席がないことです。硬い会ではないので、是非気楽に出席をお願い致します。毎回楽しみに雄弁に演説さ

同好会

来たれ！参加者(青山ゴルフ会報告)

江花 和郎 (79 回) 71 卒

れるOBさんもらっしやいます。個性豊かです。部がないので、會員が増えないという悩みはありますが、開催日は毎年3月第1土曜日に固定しております。皆様スケジュールを調整して、昔の汗をかいた仲間と語りませんか。是非出席をお願いします。出席者 59 回飯塚実、61 回高

浪洋、62 回加藤美明、63 回阿部聡、70 回金子健三、71 回大野義影、田辺龍治、72 回内山正義、見田隆雄、太刀川圭一、73 回佐藤敏郎、片桐允、保坂茂、75 回田辺静幸、76 回梅田正敏、77 回高橋康夫、津野誠一、吉沢進、78 回鷲尾正明、80 回鈴木努、83 回唐沢俊郎、84 回中村恵子 以上 22 名出席

5月14日(日) 好天の下、第43回青山ゴルフ会が紫雲ゴルフ倶楽部で開催され、79回(1971年卒)が団体優勝の栄に浴しました。今回私たちは4名での参加でしたが、幸運にも個人戦1位・2位を射止め、3名の合計スコアで争う団体戦は最多9名を擁した68・69回連合を2・6打の差で振り切るこ

とができました。69回と79回は過去幾度も優勝を争っており、当方が勝手に「永遠のライバル？」と思って励みにしていますが、何しろ相手は10歳も年上なのにこのところ参加人数で負けているのは情けない限りです。さてこの青山ゴルフ会ですが、最近参加者が年々少なくなっています。今回は26名の参加でした。一時期の半分以下ではないでしょうか。参加者は60代以上が多くなり、とくに80歳代の大先輩が元気にプレーを続けておられる一方で、若い人たちの参加がほとんどありません。私などは先輩の姿を見て、よしまた頑張ろうなどと力ももらったりもするわけで、毎年楽しみにしているゴルフ会です。同期で声を掛け合っ一緒にゴルフをして、その日のプレーを肴に酒を酌み交わす、こんな楽しい機会を逃す手はありません。若い皆さんから大いに参加し

でもらいたいと思つています。青山ゴルフ会の灯を消すことのないように後輩の奮起を促したいところです。

秋の第44回青山ゴルフ会は10月29日(日)に予定されています。盛大な会になることを期待いたします。

最後になりましたが、お世話をくださった幹事の方々に感謝申し上げます。ありがとうございます。

参加してみようと思う方はこちらにご連絡ください。↓青山ゴルフ会事務局(BSN内、品田三浦 025・267・4111)



青山烏鷲の会29年度ご案内

齋藤 繁夫 (旧職員・77回)

69卒

名称 青山烏鷲の会

青山同窓生と現・旧職員、在校生(特に囲碁部員大歓迎。部員でなくても構いません)とで、年に2回、囲碁を楽しむ会です。

元県名人といった高段者から級位者まで様々な力量の会員がそろっています。

会員の推薦により誰でも入会できます。入会費無料です。

会長 長谷川義明 前同窓会長
会員数 現在25人 会員募集中
今年度例会

前期 29年8月26日(土)

後期 30年2月10日(土)

会場 じよいあす新潟会館 (中央区幸西3-3-1)

日程と会費

烏鷲の会 昼食付き2千円 (在校生は千円)

10時~15時半 4局対局
*順位に応じて対局者全員にもれなく日本棋院グッズ(棋士揮毫扇子・採譜用紙・日本棋院2色ボールペン・詰め碁の小冊子など)を差し上げます。

懇親会 飲み放題4千円
15時半~17時半

*片方のみの参加も可です。

28年度成績上位者

前期 28年8月11日(祭)

優勝 本間村紀(76回生)

準優勝 田原誠一(旧職員)

3位 中野祥孝(102回生)

後期 29年2月12日(日)

優勝 佐藤一也(70回生)

準優勝 中野三義(65回生)

3位 齋藤繁夫(77回生)

連絡先

025(386)1560

電話・FAX共用

青山烏鷲の会事務局齋藤繁夫

入会ご希望の方は事務局まで

ご連絡ください。

特別寄稿

47年振りの同期会―通信制の思い出―

高木 睦弘 (64回) 56卒

平成29年4月16日、南魚沼市浦佐「たもん荘」で通信制第12回卒の同期会が開かれた。12回卒は97名だったがその中の19名が集まった。男10名女9名である。招かれた教員は3名、美術の阿部誠也先生、体育の小泉正先生、そして国語の私、高木である。

私達3名は数学の遠藤良吉先生、英語の上杉雅之先生と共に昭和41年に通信制に赴任したのである。昭和23年に通信教育部が置かれて初代主任に岩野祐吉先生がなられ、昭和38年に「通信制」と改称されたのだが、私が高校生の頃(昭和28~昭和30)も当然あった筈。ところが在校中は勿論、教員になつてからも通信制という学校制度は、全く念頭になかった。

新潟商業の教員だった私が恩師岩野先生に招かれて通信制に入学(?)した時、添削指導をすること位しか頭になかったのである。従つてこの12回生と全く同じ初心者若葉マークだったのだ。(今は枯葉マーク?)

当時レポートは自家製で、ガリ版印刷したものや添削したものと一緒に送り返すシステムであった。ガリ版が苦手の私は上村長生先生に「これは一寸も恥を掻きつばなしであった。添削指導についても誰も教えてくれないので、自己流にやっていたが、全日制の採点スタイル

だったのだろう。生徒から注文が出る始末。「もつ」といろいろ書いて欲しい。」要するに励ましのことばや余談もということだったのだろう。

月4回のスクーリングのうち、第1と第3日曜は本校スクーリング、第2、第4が巡回指導(出張スクーリング)であった。北は村上、粟島、佐渡、南は十日町、小出など上越地区を除く県内各地へ英数国を中心に3、4人編成で廻った。印象に残っているのは村上女子高でテスト巡回の時、英語のテスト問題を持参し忘れて電話の応答で切り抜けたこと。この時は送る

方が社会科、受けるのが私であった。冬季合宿スクーリングで国立磐梯青年の家を使った(昭和42)時、夕べの集いで所員に注意されたのが生徒でなく教員(篠筈・青山・高木)であったり、2月の佐渡巡回で大荒れのため船酔いになり、介抱する者に次々と伝染(田村↓阿部↓高木)してしまつたり。

〈建川美次〉についての卒業論文執筆と学会報告

柄澤 友幹 (121回) 13卒

研究を行っています。この度卒業論文「建川美次の満蒙問題解決構想と満州事変処理方針―宣統帝擁立の背景と国際情勢認識―」を執筆し、その内容を地方史研究協議会という全国規模の学会にて報告いたしました。おそらく建川美次をテーマとした論文や学会報告は前例のないものと思われまふ。



私は学部生時代より、本校の先輩にあたる旧制新潟中学校を卒業した陸軍軍人・建川美次の



第6回卒業生（明治32年2月11日）
最後列左より7人目建川美次

後、日本は溥儀（宣統帝）を擁立して満州国を建国しました。この一連の流れが、日本の国際連盟脱退につながり、戦争への道を突き進むきっかけとなったということだと思います。しかし、満州事変の処理に際して溥儀を擁立するという計画は当時の日本には存在しませんでした。溥儀の擁立を発案し日本の方針をこれに転換させた人物こそが建川美次でした。私は、建川が溥儀の擁立を発案した意図を分析し、新たな視点から満州事変を検討しました。従来の研究では、なぜ溥儀が擁立されたのかという問いに対する決定的な答えが提

示されておらず、更に、建川は満州事変に対して積極姿勢をもつ「過激派」として語られていました。しかし私は今回の論文と学会報告において、建川は日本が国際的に孤立する事態を回避し、国際協調を希求した人物であると評価しました。そして建川はその実現のために「宣統帝政権論」を構想し、溥儀擁立を提案したという新たな見解を提示しました。今回の学会報告では、厳しいご指摘もありましたが、参加した方々から、私の「建川美次研究」に興味を持っていただけたため、有意義な報告になったように思います。今回、私が提示した内容がさらに精度の高いものとなるよう、今後も研鑽を積んでいく所存です。

最後にありますが、同窓生の皆さまの中に、建川美次に関する資料等をお持ちの方がいらっしゃいましたら、私までご一報いただけますと幸いです。ご

本書は高校生、大学生向きに書かれたものである。それも新潟市生まれ、新潟大学理学部数学科卒業の方によって書かれたものである。それだけでも関心をひくのだろうか、わたしにとって小さな驚きは著者が仕事、組織、人生について、新潟の人に多めの、3回橋を叩いて結局渡らない消極的なタイプでなく、むしろ挑戦は何回でもやれ、失敗したらそのうち成功に

繋がるかと考えて歓迎しろ、といつて積極的で前向きなタイプなことがわかる。新潟県は起業件数が全国でも最低のひとつである。リスクがあるとじっと堪えてなにかがよくなるのを待っているようなところがある。ところが江戸時代後期から日露戦争まで新潟県の労働生産性は上昇するが、其れ以後は不況、戦争、占領、高度成長、そして20

30年の長い不況の100年、新潟県はその相対的な位置をほぼ下方に移しつつづけている。明治維新以後の四半世紀、新潟県は全国の都道府県のなかで国家歳入に貢献額が

新潟高校30代校長の瀧澤強一先生が、今年3月21日にご逝去されました。ここに御生前の御厚情に感謝申しあげますとともに、謹んで御冥福をお祈り申しあげます。

同窓の本

金巻裕史『夢をかなえる就活』西村書店

猪口 孝（70回） 62卒

東京府をはるかに超えて全国第1位だったのだから。一体なにが悪かったのか。米がとれるから、野菜も果物もあるから。魚も沢山とれるから。酒も沢山できるから。つまり少し余裕があるから、新潟県は挑戦が無かったのである。「永久停滞」ともいえる状況に挑戦がなかったのである。失敗しつづけながら、それから学ぶことがなかったのである。経済困窮になんとかしようとして日本改造

法案を描いた北一輝、山と海に阻まれた地理を新幹線で打破しようとした田中角栄、いずれも越後再興をひそかに試みたといえるが、長い目でみると、趨勢をほとんどかえることができなかった。何が足りないのか。それは著者に問えば、多分県民の多くに挑戦の積極精神がなかったからである。著者はソニーにながく奉職したさまざまな経験から、このような結論を出している。



母 校 は 今

平成29年度入試結果

進路指導主事 西條 和久

＜平成 29 年度入試概況＞

平成 29 年度の大学入試センター試験（以下、センター試験）の確定出願者数は、3 年ぶりに増加した前年度よりさらに 12,199 人増加しました。全志願者に占める現役生の割合（現役占有率）は 81.9%で、前年度より 0.1%ダウンしましたが、現役志願率は 43.4%から 43.9%へアップし、過去最高となりました。一方で、既卒生等は 2,692 人増加し、志願者総数は約 10.4 万人となりました。現行課程でのセンター試験の実施は 3 年目となり、対策がしやすくなったことで再チャレンジした受験生が増加したことが原因と思われます。国公立大学の確定志願者数は前年から 858 人の微減で 6 年連続の減少となりましたが、国公立の募集人数が 785 人減少した関係で、志願倍率はごくわずかにアップしました。一方で私立大の延べ志願者数は 11 年連続で増加しています。

系統別志願状況では、「文高理低」という傾向は、平成 29 年度入試でも継続しています。大学生の就職状況が良いことに加えて、理系の理科の負担の重さから、文理選択の段階で文系を選んだ受験生が多くなったことが要因といえます。国公立大学の文理別の募集人数は、文系よりも理系の方が多いため、理系受験生の減少が全体の志願者数減少につながったといえます。さらに、センター試験平均点が文系では 9 点アップして 4 年連続アップしたのに対し、理系は 2 点ダウンして 2 年連続ダウンしたことも理系受験生の出願に影響を与えました。

＜平成 29 年 3 月卒業生の進学状況＞

「社会貢献」・「自主自律」・「真理追究」の本校の教育目標に沿って、3 年間進路指導を行いました。多くの生徒が、最後まで「各々の最難関」を目指し、受験を終えました。全体の進学率は 54.4%で、昨年より 13.2 ポイントダウンしました。

難関大学（東大、京大、一橋大、東工大、国公

立大医学部医学科および旧帝大）の合格者は 55 名でした。この人数は、昨年より 17 名減で、一昨年と同数です。

東京大については、現役受験者が 37 名と近年最多の受験をしましたが、現役合格者数は、文 I 1 名、理 I 2 名の計 3 名でした。なお、過去 5 年間の推移は 8 → 12 → 7 → 11 → 3 です。既卒も理 I 1 名のみで、現浪計 4 名と大きく減ってしまいました。

他の難関大については、過去 3 年の推移を見ると、京大 4 → 3 → 4、一橋大 2 → 2 → 5、東工大 1 → 1 → 3、東北大 21 → 30 → 16、北大 6 → 7 → 10 で、特に一橋大で結果を残しました。

一方で、国公立大医学科の現役合格者数は、昨年と同数の 15 名となりました。過去 5 年間の推移は、24 → 26 → 11 → 15 → 15 で、私立大を含めて現役で 17 名の進学となり、この人数も昨年と同数でした。なお、医学科を目指し浪人した既卒生を含めると、国公立の医学科合格者数は 39 名でした。この数字は全国の公立高校で 3 番目に多い人数です。潜在的に医学科志望者が多い本校では、医師を目指す生徒に対して、メディカルコースでの学習や講演会、大学訪問等を通じて絶えず動機づけしていますが、現役での合格者を増やせるよう今後とも取り組んでいきます。

入れる大学で妥協せず、各々が自分を成長させる場として難関大に進むことを希望していますが、本校生徒が目標とする大学の入試においては依然として厳しい競争が続いています。自分の可能性を信じて、捲土重来を期す生徒に対しては、「ますらお通信」を送って激励していきます。

＜最後に＞

「文武両道」の伝統を堅持しつつ、生徒の進路希望達成に向けて、私たち職員は今後とも生徒の学力や人間力の向上に努めてまいります。同窓会の皆様方からのご支援ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

主な大学合格者数 (現役合格者延べ数)

Table with 9 columns: 大学名, 平成22年, 平成23年, 平成24年, 平成25年, 平成26年, 平成27年, 平成28年, 平成29年. Lists various universities and their enrollment numbers over time.

Table with 9 columns: 大学名, 平成22年, 平成23年, 平成24年, 平成25年, 平成26年, 平成27年, 平成28年, 平成29年. Lists private universities and their enrollment numbers over time.

* 空白は未受験、○は合格者○(ゼロ)

教育実習を終えて

教育実習生 鈴木 七菜 (121回) 13卒

地歴公民科の教育実習生として2週間お世話になりました。授業は2年生の世界史を担当させていただきました。

初めての授業を終えて、指導教諭の渡辺新太郎先生から、「板書案や黒板の方を見て話すのではなく、前(生徒)の方を向いて話すこと」、「事項の羅列になるのではなく、行間を埋める(因果関係説明を取り入れること、そのために教材研究をきちんと行うこと)」、「授業者の一方的な説明だけになるのではなく、生徒が主体的に授業に取り組めるように工夫すること」を指導していただき、2週間の実習期間中、この3つを特に意識し、授業前の準備や練習を重ねましたが、やはり一朝一夕にできるものではなく、授業を1回終えるたびに、課題が残りました。その度に、いかに先生方が苦労して授業およびその準備をされているのかということを感じ、どうやって発問やグループワークを入れていこうか、どのような資料や地図を入れたら有効か、1番大事なことを伝えるためにどのような順番で話すか等、試行錯誤する毎日でした。最後の授業まで完璧な授業はで

教育実習を終えて

教育実習生 本間 奈保子 (122回) 14卒

国語科の教育実習生として、授業では、1学年の現代文を担当させていただきました。教育実習に来る前に、自分なりに教材と向き合い、研究を重ね、準備を積んでいたつもりでしたが、いざ実習がはじまり、授業をするとなると、生徒にどこで発問をするべきか、どこを教師側が説明するべきか、などが甘かった部分が多く見えてきました。その都度、指導教諭の丸山敦子先生に丁寧にご指導をいただき、少しでも授業が分

かりやすくなるようにと必死に試行錯誤を重ね続けた3週間でした。たくさん先生方の授業を見学させていただきましたが、先生方の一つひとつの授業にかけられる熱意の大きさに驚きを隠せませんでした。国語科の教師として、漢字の筆順や板書の美しさ



にまで配慮が行き届いているのは勿論のこと、常に生徒の立場に立つて、授業を構成されているということを学びました。また、一つひとつの教材で、生徒にどのような国語力をつけさせるべきなのかということを深く考え、目の前の生徒に応じて手段を変えながら実践していくことの大切さを知りました。授業以外の面でも色々なことを体験させていただきました。毎朝のホームルーム、青陵祭の準備や応援練習の見学、そのどれもが、自分が生徒だった時とは異なる視点を与えてくれ、多くの学びを得ることができました。先生方は、授業以外にも生徒の知らないところで、たくさんサポートをしているのだ、ということを知り、授業時間外の活動では、授業の時とは違う生徒の顔を見ることができるといことも改めて実感することができました。

<平成29年度 新潟高等学校 県総体等結果報告>

Table with sports results for Niigata Prefecture General Sports Meeting. Categories include 陸上競技 (Track & Field), 水泳 (Swimming), バレーボール (Volleyball), バスケットボール (Basketball), and ソフトテニス (Soft Tennis). Lists participants, schools, and scores.

職員の異動

平成 29 年 4 月

〔退職 転出(転出先)〕 校長 石井 充 (新潟県教育委員会教育次長) 教頭 中川佳代子 (分水高校 校長) 教諭 幸田安希子 (佐渡高校) 濱藤 直人 (長岡高校) 堀越 康裕 (新潟西高校) 佐藤 真 (阿賀黎明高校) 泉田 亮 (加茂農林高校) 植木 聡之 (十日町総合高校) 渋谷 浩一 (新潟西高校) 山田 隆夫 竹内 哲文 (三条高校) 佐野由美子 (柏崎総合高校 教頭) 養護教諭 藤田 幸江 (新潟翠江高校定時制(再任用)) 講師 泉田 康助 常勤実習助手 加藤 優 (豊栄高校常勤講師) 非常勤講師 水口 洋康 澤田 茜 牛木 真理 事務長 安達 祐司 (定年退職 環日本海経済研究 所 (ERINA))	〔転入(前所属)〕 校長 飯田 昭男 (新潟県教育庁高等学校教育課課長) 教頭 夏見 康彦 (松代高校 教頭) 教諭 増山 純一 (巻高校) 鈴木 健一 矢代 淳 (佐渡高校) 小口 洋平 (村松高校) 高橋 昌樹 丸山 凱大 (新採用) 大塚 義信 (新潟南高校) 齋藤 倫明 大関 祥子 (新潟南高校) 立川 勝則 (高田高校) 小川 浩子 (巻総合高校) 堀 真弓 非常勤講師 吉田 佳子 (新規) 玉木 文子 (新規) 上野 公良 (新規) 金濱 瑛栄 (新規) 曾我絵里子 事務長 宇治 直樹 (巻高校) (新規 3ヶ月)
---	---

平成 28 年度 (H 28. 4. 1 ~ H 29. 3. 31) 青山同窓会会費納入者

10 月より 3 月末まで納入いただいた方を掲載しております。4 月より 9 月末まで納入された方は前号に掲載済みです。会費を納入していただきますと「青山同窓会報」を毎月お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」をお送りすることができなくなってしまいます。

全日制と通信制を併わせ、振替口座を統一しましたのでご注意願います。

1 口 1,000 円。できるだけ 2 口以上でお願いいたします。

振込先：郵便振替口座
全日制・通信制 00650-7-4455 青山同窓会

全日制 42回S10年 廣 沢 齊 44回S12年 宮 川 一 郎 47回S15年 志 賀 武 司 51回S19年 梶 井 功 53回S20年 宮 路 陽 一 55回S22年 伊 藤 健 二 郎 56回S23年 荒 川 昭 寿 上 田 宏 58回S25年 植 村 末 哉 59回S26年 勝 見 右 夫 高 橋 晴 郎 堀 谷 滋 久 60回S27年 小 林 満 小 田 寛 洸 長 橋 博 早 武 正 矢 川 和 偉 61回S28年 小 島 政 孝 62回S29年 鈴 木 勉 遠 山 晴 夫 丹 羽 仁 忠 藤 井 則 忠 村 上 年 63回S30年 五十嵐 健 治 倉 品 省 三 白 井 倍 夫	白 倉 至 二 関 守 雅 範 寺 島 道 衛 中 村 八 信 二 木 信 行 山 田 豊 勇 油 山 暢 男 64回S31年 太 田 恵 子 中 村 輝 久 西 野 貢 司 早 川 周 作 三 日 月 賢 二 65回S32年 阿 部 明 子 川 崎 保 一 笹 川 敬 一 本 間 英 男 本 宮 志 郎 吉 井 士 郎 66回S33年 青 木 一 男 稲 本 喜 一 内 田 定 寛 神 田 征 輝 里 村 友 彦 下 山 忠 利 福 田 津 紀 藤 本 瑞 夫 山 口 喜 康 67回S34年 石 田 瑞 徳 北 場 勝 昌 桐 生 和 昌 佐 々 木 邦 夫 福 山 忠 助 松 川 哲 之 皆 川 一 郎	68回S35年 五十嵐 一 衛 河 西 厚 林 濱 原 八 徹 濱 田 庄 司 丸 山 弘 鑑 渡 邊 千 子 69回S36年 阿 部 治 男 幸 藤 越 彬 高 杉 昭 二 西 野 良 夫 70回S37年 伊 藤 正 敏 齋 須 寛 人 須 藤 俊 義 高 野 義 樹 高 橋 治 夫 高 伏 見 健 三 高 田 政 勝 吉 田 豊 子 71回S38年 大 野 彰 彰 風 間 英 昭 佐 藤 禮 一 中 野 沢 一 坦 渡 辺 赫 子 72回S39年 井 植 和 美 黒 井 寛 寛 黒 木 井 寛 小 林 正 昭 高 橋 介 興	早 川 武 美 73回S40年 佐 野 重 雄 74回S41年 井 海 範 子 岡 村 健 吉 古 川 芳 明 佐 藤 信 秋 鈴 木 勝 紀 関 口 賢 太郎 竹 之内 明 本 間 正 一 水 本 直 弥 75回S42年 大 野 敏 雄 北 村 順 勉 小 山 隆 一 洪 谷 伸 志 鈴 井 建 一 藤 田 普 信 皆 川 勝 次 村 山 惠 勝 76回S43年 明 村 澄 雄 安 達 瑞 修 天 野 直 二 村 山 ひろみ 77回S44年 齋 藤 憲 司 長 井 健 和 西 和 男 78回S45年 桑 原 順 喜 田 崎 大 博 宮 田 光 博 村 田 光 男	山 口 正 人 79回S46年 伊 藤 毅 初 藤 島 道 夫 岡 原 宏 一 片 北 斉 藤 原 藤 秀 正 藤 田 正 徳 富 山 川 浩 中 川 宏 昭 丸 山 直 昌 三 保 惠 美 米 渡 洋 吉 渡 辺 英 一 80回S47年 小 畑 康 之 菊 藤 康 高 近 藤 野 志 清 野 祐 一 長 谷 川 永 一 原 森 網 彦 81回S48年 五十嵐 修 夫 遠 藤 剛 秀 神 田 井 秀 坂 洪 谷 雅 徳 霜 島 木 正 鈴 武 正 秀 平 野 弘 一 前 川 弘 徹 丸 山 裕 裕 山 澤 政 裕 山 口 由 美 82回S49年 荒 川 育 子	池 田 勝 久 稲 川 純 一 浦 田 秀 尚 遠 藤 雅 博 小 河 西 敦 子 唐 澤 佳 子 木 村 美 嘉 小 林 立 義 小 齋 藤 朋 彦 篠 原 田 弘 高 橋 雅 成 大 茅 原 直 人 成 松 昌 隆 宮 島 静 一 83回S50年 安 宅 賢 秀 石 本 真 琴 小 澤 匡 匡 小 菊 池 正 俊 齋 藤 伸 二 酒 井 啓 吉 佐 藤 時 扶 豊 田 清 清 根 岸 秀 行 源 内 博 三 渡 邊 主 三 84回S51年 小 黒 志 津 神 蔵 宏 子 中 村 惠 子 浅 田 浩 義	飯 沼 泰 史 伊 藤 正 尚 今 井 豊 久 園 田 裕 清 田 中 令 令 苦 米 地 通 広 瀬 太郎 星 山 松 知 森 知 之 之 86回S53年 岡 田 修 司 瀬 谷 信 一 玉 木 正 己 内 藤 芳 雄 乘 兼 雅 明 87回S54年 高 橋 克 彦 長 谷 部 淳 志 服 部 浩 志 宮 田 佳 則 88回S55年 林 惠 子 長 田 裕 子 岸 木 郁 之 古 村 昌 子 吉 岡 潤 夫 渡 邊 治 夫 89回S56年 飯 田 晴 美 石 原 綾 子 岩 野 尚 子 90回S57年 石 見 鉄 夫 岩 谷 淳 一 齋 藤 道 明 佐 藤 美 由 佐 藤 雄 一 佐 藤 之 彦 信 太 典 子 袖 山 敏 明	高 橋 美 和 田 辺 裕 美 渡 辺 靖 貴 阿 部 幸 之 助 91回S58年 阿 部 見 和 子 五百川 裕 裕 星 山 松 生 93回S60年 橋 詰 政 之 94回S61年 今 井 卓 聡 小 柳 聡 加 島 倫 子 96回S63年 林 正 子 97回H1年 関 博 司 100回H4年 岩 城 孝 和 森 岡 聡 美 101回H5年 阿 部 雅 也 打 越 輝 昌 小 林 史 佳 和 賀 史 論 102回H6年 佐 藤 宗 広 107回H11年 長 谷 川 真 弓 110回H14年 石 崎 徹 113回H17年 佐 藤 あずさ 原 太 一 116回H20年 三 上 由 佳 莉 117回H21年 萩 原 かな恵 119回H23年 木 村 亮 太	関 谷 祐 香 121回H25年 相 澤 有 香 122回H26年 平 松 八 重 子 123回H27年 小 出 拓 郎 124回H28年 相 澤 知 里 佐 藤 充 太 田 中 爽 馬 土 佐 聡 馬 藻 谷 美 月 通信制 11回S44年 野 上 久 美 子 15回S48年 三 浦 美 恵 子 22回S55年 加 藤 の り 子 27回S60年 阿 部 幸 一 石 川 孝 子 栗 原 隆 隆 29回S62年 三 浦 美 恵 子 30回S63年 増 田 朋 子 31回H1年 田 中 麻 紀 子 33回H3年 渡 辺 作 司 34回H4年 今 井 純 子 39回H9年 関 川 亮 子 小 林 麻 美 44回H14年 近 雄 介
---	--	--	--	---	---	--	--	--